

明けましておめでとうございます。 その8

正月3ヶ日は、ニューイヤ―駅伝と箱根駅伝で過ぎていきました。2日の日に昔の教え子たちと会うことができました。几帳面に、年に2回ずつ必ず集まっている仲間たちです。もうかれこれ、30年になるでしょうか。彼らは、鼠年の年男たちなので、卒業から30年です。

この時代の野球部は、朝の8:00から夜の8:00まで練習していた時代です。夏休み期間がとても長く感じられました。彼らの言い分によると、朝から午前中の練習はまだしも、午後に行われる100本ノックとアメリカンノックはとてもつらかったそうです。100本ノックといっても、左右にノックする数は、全部で300本はあるでしょう。捕った数が100本で終わるので、300本くらいは受けていたはずですが。これを内野の10人に行った後、外野の10人に行い、そのあとは、アメリカンノックといって、レフトからライトに走るその先にノックしたボールを取るという練習ですので、これを20本やったところで、50本くらい分は走ることになっています。1本約100メートルとして、5キロは全力で走る勘定です。それを20人にやるのだから、私一人で、300×20プラス50×20とすると、7000本くらいは一日ノックをするのです。

後半には練習試合も入るので、前半の20日間はこの練習に明け暮れましたので、全部で、14万本はノックした勘定です。これを9年間やりましたので、総数として、夏休みだけで、126万本のノックをしたことになります。

太る暇がなかったのもうなずけますね。

36歳で磐城高校に来てからは、顧問を9年間務め、3年間は部長もやりましたが、あまりノックもせず、監督がするノックを見ながらああでもないこうでもないを指導しておりました。その選手たちの何人かが、現在福島県高野連に関係して、監督や部長等になっており、今後の福島県高野連を支えていってくれるはずですが。

高校時代に覚えたことは、すべての基礎になっていると思います。磐城高校の同窓会を行うと、応援団であったものが最後にエールを切りますが、そのエールの見事さはつくづく感心するところです。指の先まで神経が行き届いたエールは、大人になっても決して忘れず体に染みついているのだなと感動すら覚えます。

同じように、自分が経験した教えは、生徒たちにもよくわかるように教えられるものだと思います。

ただし、采配に関しては、もって生まれた感性と、その後の様々な学習効果が表れます。根拠を持った計算された采配は、後々生徒たちもその意味が分かり、本当の信頼関係を形成すると考えます。

